

[22 番の歌](#) 王国は統治している 王国が来ますように！

エホバがこれからどのように裁くかについて分かっていること

「エホバは..... 一人も滅ぼされ[ない]ことを望んでいる」。 [ペテロ第二 3:9](#) エホバ(*)は約束を果たすのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんのことを辛抱しているのです。

ポイント：エホバが近い将来 **人々を裁く時**， **正しく公平にそうしてくださる**と **確信**できます。

1. 今が特別な時代といえるのはどうしてですか。

私たちは**特別な時代**に生きています。 **聖書の預言が実現**するのを**毎日**のように**目撃**しているからです。例えば、「**北の王**」と「**南の王**」が**世界の主導権を巡って争**っています。（[ダニ 11:40](#) 終わりの時に、南の王は彼と**押し合い(*角を突き合わせ)**ます。北の王は、兵車や騎手や多くの船で南の王を激しく攻撃し、国々に入って、洪水のように勢よく通っていきます、脚注）**神の王国の良い知らせ**が今までにない規模で**伝えられ**ており、**数百万人**が**エホバに仕えるよう**になっています。（[イザ 60:22](#) 小さな者が千人にもなり、取るに足りない者が強大な国民になる。私エホバが、定めの際にそれを速める。[マタ 24:14](#) そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから**終わりが来ます**）そして私たちは、**信仰を強める食物**を「**適切な時に**」豊かに与えられています。（[マタ 24:45-47](#) 主人が、召し使いたちに**適切な時に食物を与えるため**、彼らの上に任命した**忠実で思慮深い奴隷**はいったい誰でしょうか。46 主人が来て、そうしているところを見るなら、その奴隷は幸せです！ 47 はっきり言いますが、主人は**自分の全ての持ち物を管理させるためにその奴隷を任命します**）

2. ①**どんなことを確信**できますか。②**どんなことを認める必要**がありますか。

2 エホバは、**近い将来**に**どんな重要なことが起きるか**について**私たちがはっきり理解**できるように**助けて**くださっています。（[格 4:18](#) しかし、正しい人たちの道は夜明けの光のようだ。真昼になるまで明るさを増していく。[ダニ 2:28](#) しかし、**秘密を明らかにされる神**が天におられます。その方が、**最後の日々に起きる事柄**をネブカドネザル王に知らせたのです。あなたが見た夢、床に就いておられた時に頭の中で見た幻について申し上げます）私たちは、①**大患難が始まる時まで**に、**エホバとの絆を強めて忠実に仕え続けるのに必要な情報**が**全て与えられる**ことを**確信**しています。とはいえ、②**近い将来について知らないことが幾つかある**という点を**認める必要**があります。この記事では、①**将来起きる出来事について理解が調整されたのはどうしてか**を考えます。そして②**将来について**、またエホバがどのように**行動するか**について、**私たちが知っていること**を考えます。

知らないこと

3. 私たちは以前、大患難が始まった時点でエホバに仕えていない人たちについてどう考えていましたか。どうしてですか。

3 私たちは以前、大患難が始まった後にエホバに信仰を持つようになってハルマゲドンを生き残る人はいないと考えていました。それは、ノアの時代の大洪水の際に起きたことが、将来に起きることと対応していると考えていたからです。例えば、エホバが箱船の扉を閉めた後に誰も箱船に入ることができなかったのと同じように、大患難が始まった後に信仰を持つようになって救われる人はいないと考えていました。（[マタ 24:37-39](#) 人の子の臨在の時はちょうどノアの時代のようになります。38 洪水前のその時代、ノアが箱船に入る日まで、人々は食べたり飲んだり、結婚したりしていました。39 そして、洪水が来て全ての人を流し去るまで注意しませんでした。人の子の臨在の時もそのようになります）

4. ノアの時代に起きた事柄全ては将来起きる事柄を表している、と考えなくなったのはどうしてですか。

4 では、大洪水の時に起きた出来事一つ一つが将来の出来事と対応しているのでしょうか。そうではありません。聖書にそれを裏付ける根拠がないからです。[*この理解の調整について詳しくは「ものの塔」2015年3月15日号7-11ページの「神が是認された教え方」という記事を参照。](#)確かに、イエスは自分の臨在の時と「ノアの時代」を関連付けて話しました。でも、エホバが箱船の扉を閉めたことなど、ノアの時代に起きた事柄全てが将来起きる事柄に対応しているとは言いませんでした。とはいえ、私たちにノアや洪水についての記述から学べることがあります。

5. (ア) ノアは大洪水の前にどう行動しましたか。（[ヘブライ 11:7](#)、[ペテロ第一 3:20](#)）(イ) ノアが行った伝道について考えると、現在の伝道活動についてもどのように考えられますか。

5 ノアは、エホバから警告を聞いた後、箱船を造ることによって信仰を表しました。（[ヘブライ 11:7](#) 信仰によってノアは、まだ見ていない事柄について神から警告された後、神への畏れを示し、自分の家族を救うために箱船を建造しました。そして、この信仰により世を断罪し、信仰のゆえに正しいと認められました、[ペテロ第一 3:20](#) その天使たちはノアの時代に不従順だった者たちです。その時代、神が辛抱して待っていた間、箱船が建造され、それに乗ったわずか8人の人(c*ギ語プシュケー)が水の中を通過して救われましたを読む。) 同じように、神の王国の良い知らせを聞いた人は、聞いたことに基づいて行動する必要があります。（[使徒 3:17-20](#) さて兄弟たち、私はあなた方が、支配者たちと同じように、よく知らずに行動したことを知っています。18 しかし、このようにして神は、全ての預言者を通して前もって知らせた事柄、すなわち、ご自分のキリストが苦しみを受けるということを実現させたのです。19 ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て、20 あなた方のために任命されたキリスト、つまりイエスが遣わされます）ペテロはノアのことを「正しいことの伝道者」と言いました。（[ペテロ 2:5](#) また、古代の世界を処罰しないでおくことはせず、神を敬わない人々の世界に洪水をもたらしました。ただし、正しいことの伝道者ノアをほかの7人と共に保護しました）とはいえ、前の記事で考えた通り、ノアが洪水前に地球上の全ての人に警告を知らせることができたかどうかは分かりません。現在、私たちは世界中の人に伝道する活動を熱心に行っています。でもどんなに頑張っても、終わりが来る前に、地球上の全ての人に良い知らせを伝えることはできないでしょう。どうしてですか。

6-7. 終わりが来るまでに地球上の全ての人に良い知らせを伝えることはできない、といえるのはどうしてですか。

6 私たちの伝道活動の規模についてイエスは何と言っていたのでしょうか。イエスは、良い知らせは「全ての国の人々が聞けるように世界中で」伝えられると 予告しました。（マタ 24:14 そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます）この預言は 今まさに実現 しています。王国の良い知らせは、1000 以上の言語で伝えられ ています。そして jw.org のウェブサイト は 世界人口の大部分が利用できる になっています。

7 しかし イエスは弟子たちに、「人の子が来るまでにあなたがたがイスラエルの町々を回り尽くすことは決してありません」と言いました。（マタ 10:23 ある町で迫害されるときには、別の町に逃げなさい。はっきり言いますが、人の子が来るまでにあなたがたがイスラエルの町々を回り尽くすことは決してありません。25:31-33 人の子は栄光を帯びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります。32 全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をヤギから分けるように、人々を分けます。33 そして羊を自分の右に、ヤギを自分の左に置きます）つまり、イエスが来るまでに全ての人に伝道することはできない ということです。考えてみてください。伝道活動が厳しく制限されている地域に住んでいる人 が大勢います。それに、毎分何百人もの赤ちゃんが生まれて います。私たちは、「あらゆる国や民族や言語」の人たちに 良い知らせを伝えるため、最善を尽くして います。（啓 14:6 また私は、別の天使が空高く (d*中天を) 飛んでいるのを見た。その天使は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国や民族や言語や種族の人々に伝える、永遠の良い知らせを携えていた）でも 実際 のところ、終わりが来るまでに地球上の全ての人に良い知らせを伝えることはできない でしょう。

8. どんな疑問が湧くかもしれませんか。（写真も参照。）

8 こうしたことを考えると、次のような疑問が湧くか もかもしれません。「大患難が始まる前に良い知らせを聞く機会がなかった人たちはどうなる だろう。エホバ とエホバから裁くことを委ねられている イエス は、そうした人たちのことを どのように判断 するだろう」。（ヨハ 5:19 それでイエスはユダヤ人たちにこう言った。「はっきり言っておきますが、子は自分からは何一つ行えず、父がしていることを見て行えるにすぎません。何でも父がすることを子も同じように行います、22 父は誰一人裁かず、裁くことを全て子に委ねています、27 そして、裁きを行う権威を彼に与えました。彼が人の子だからです。使徒 17:31 なぜなら、自分が任命した者によって世界を公正に裁くために日を定めたからです。そして、その者を復活させて全ての人に保証を与えました）この記事の 主題聖句 によると、エホバは「一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んで」います。（ペテ二 3:9 エホバ(*)は約束を果たすのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんのことを辛抱しているのです。テモ一 2:4 神は、あらゆる人が救われて、真理の正確な知識を得ることを望んでいます）とはいえ、良い知らせを聞く機会のなかった人たち をエホバが どう判断 するかについては、私たちには分かりません。それに、エホバにはそのことを私たちに知らせる義務はありません



大患難が始まるまでに良い知らせを聞く機会がなかった人たちのことをエホバはどう判断しますか。（8節を参照。）

*写真や挿絵: ある人たちにとって王国の良い知らせを聞くことが難しいと考えられる理由。（1）ある女性は、国の主な宗教の影響でエホバの証人が安全に伝道できない地域に住んでいる。（2）ある夫婦は政治体制によって伝道活動が禁止された地域に住んでいる。（3）ある男性は人の往来がないへき地に住んでいる。

9. エホバは聖書を通してどんなことを教えてくださいか。

9 エホバは聖書の中で、これから行くことをいくらか知らせてくれています。例えば、良い知らせを聞いて行動を改めるチャンスがなかった「正しくない人」たちを復活させると教えています。（使徒 24:15 また、私はこの方たちと同じ希望を持っております。神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望です。ルカ 23:42, 43 さらに言った。「イエス、王国に入る時に私を思い出してください」。43 イエスは言った。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」）この点を考えると、別の疑問が浮かびます。

10. ほかにどんな疑問が湧きますか。

10 大患難の間に死んだ人は誰も復活しないのでしょうか。聖書には、エホバにあからさまに反抗しハルマゲドンで滅ぼされる人たちは復活しない、とはっきり書かれています。（テサ二 1:6-10 皆さんを苦しめる人たちに、神が苦難をもって報いることは、確かに正しいことです。7 一方、苦難に遭っている皆さんは、主イエスが明らかにされる時に私たちと一緒に安らぎを得ます。その際イエスは、強力な天使たちと共に天から現れ、8 燃え盛る火を伴って、神を認めない人々と、私たちの主イエスについての良い知らせに従わない人々に報復します。9 こうした人々は、永遠の滅びという処罰を受け、主の前から退けられ、主の偉大な力から切り離されます。10 主が来るその日、主は聖なる人たちと共に栄光を受け、信仰を抱いた人全てから称賛されます。私たちが語った事柄を聞いて信仰を持った皆さんも、その場にいるでしょう）では大患難の間に、病気や老齢のために、または事故や事件に巻き込まれて亡くなる人はどうなるのでしょうか。（伝 9:11 私はこの地上で次のことも知るようになった。足の速い人がいつも競走に勝つわけでも、強い人が戦いに勝つわけでもない。また、賢い人がいつも食事にありつけるとは限らない。知的な人が裕福になるとも、知識がある人が成功するとも限らない。なぜなら、思いも寄らないことがいつ誰にでも起きるからだ。ゼカ 14:13 その日、エホバによる混乱が彼らの間に広がる。どの人も友の手をつかみ、友の手に対して手を上げる(*1人が別の1人を攻撃する)）中には、新しい世界で「正しくない人」として復活する人がいるのでしょうか。私たちには分かりません。

知っていること

11. イエスは何を基準にして人々を羊かやぎに分けますか。

11 将来起きることについて、私たちはどんなことを知っているのでしょうか。例えば、キリストの兄弟たちにどう接したかを基準にして、キリストが人々を羊かやぎに分けるということを知っています。（マタ 25:40 王は答えます。『実のところ、これら私の兄弟のうち最も目立たない人の1人にしたのは、それだけ私にしたのです』）キリストや天に行くよう選ばれた人たちに協力してきた人は、羊として分けられます。ほかにも私たちは、②キリストの兄弟たちの一部が大患難が始まった後も地球にいて、ハルマゲドンが始まる直前に天に行くということを知っています。キリストの兄弟たち

が地球にいる間は、そうした兄弟たちとその活動を支えることができるでしょう。（マタ 25:31, 32 人の子は栄光を帯びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります。32 全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をヤギから分けるように、人々を分けます。啓 12:17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d*種)のうちの残っている人たち、すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人たちと戦うために去っていった）これらはとても重要な点です。どうしてそういえますか

12-13. 「大いなるバビロン」が減びるのを見て、どのように反応する人がいるかもしれませんか。（写真も参照。）

12 大患難が始まった後であっても、「大いなるバビロン」が減びる様子を見て、エホバの証人がずっと言ってきたことを思い出す人がいるかもしれません。その中に信仰を持つようになる人たちはいるでしょうか。（啓 17:5 女の額には謎めいた名が書かれていた。「娼婦たちと地上の極めて不快なものの母、大いなるバビロン」という名である。エゼ 33:33 その言葉は必ず実現する。それが実現する時、彼らは自分たちの中に預言者がいたことを知らなければならなくなる）

13 モーセの時代にエジプトで起きたことについて考えることができます。イスラエル人がエジプトを出て行く時、「さまざまな人」が一緒にいました。（出 12:38 さまざまな人(c*イスラエル人以外の人のことで、エジプト人も含む)も大勢一緒に行き、羊や牛、多数の家畜が一緒だった) その中のある人たちは、モーセが言っていた10の災厄がその通りに起きるのを見て、エホバに信仰を持つようになったのかもしれません。同じように、大いなるバビロンが減びた後、終わりが来る直前に私たちに加わる人がいるとしたら、面白くないと感じますか。もちろんそうなりたくはありません。エホバは「憐れみ深く、思いやりがある神、すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、常に信頼できる」方です。（出 34:6 エホバはモーセの前を通り過ぎつつ、こう宣言した。「エホバ、エホバ、憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある神、すぐに怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ち、常に信頼できる(*真実を語る)）私たちはエホバに倣いたいと思います。*大いなるバビロンが減ぼされた後、エホバに仕える人たちは全員、マゴグのゴグの攻撃の際に信仰を試されます。大いなるバビロンが減ぼされた後にエホバの側に付く人たちも試されます。



「大いなるバビロン」が減びる様子を見て、エホバの証人がずっと言ってきたことを思い出す人がいるかもしれない。

(12-13 節を参照。) *写真や挿絵: エホバに仕えることをやめてしまった若い女性が「大いなるバビロン」が減ぼされることについて昔学んだことを思い出している。その後、心を入れ替え、エホバの証人の両親のもとに帰っている。そういう時、エホバに倣って憐れみ深く思いやりを示し、その人が戻ってきたことを喜ぼう。

14-15. 永遠に生きられるかどうかは、いつ死ぬか、またはどこに住んでいるかで決まりますか。（詩編 33:4, 5）

14 兄弟姉妹の中には、エホバの証人ではない家族が亡くなった場合にこう考える人がいるかもしれません。「亡くなったのが大患難の前でよかった。復活の希望があるから」。きっと家族を思う気持ちからそう考えるのでしょう。でも、いつ死ぬかによって永遠に生きられるかどうかが決

まるわけではありません。エホバは完璧な裁きを行う方なので、どんな時も正しくて公平な判断をしてくださいます。（詩編 33:4, 5 エホバの言葉は正しく、神が行うことは全て信頼できる。5 神は正しさと公正を愛する方。エホバの揺るぎない愛は地上に満ちているを読む。）私たちは「地上の人全てを裁く方」が必ず正しいことを行ってくださると確信できます。（創 18:25 邪悪な人と一緒に正しい人も滅ぼして、正しい人と邪悪な人を同じ目に遭わせるようなことを、あなたがなさるはずはありません。あなたに限ってあり得ないことです。地上の人全てを裁く方は、正しいことを行われるのではありませんか）

15 永遠に生きられるかどうかはどこに住んでいるかで決まるわけでもありません。王国のメッセージを聞くことができない地域に住んでいるからといって、エホバがそれらの人たちをみんなまとめて“ヤギ”と見なすとは考えられません。（マタ 25:46 この人たちは永遠の死を迎え、正しい人たちは永遠の命を受けます）地上の人全てを正しく裁くエホバは、誰よりも一人一人のことを大切に思っています。大患難の最中にエホバがどのように物事を動かすか、私たちには分かりません。もしかすると、その期間中にエホバについて学んで信仰を持ち、エホバがご自分の名前を神聖なものとする時にエホバの側に立つ人がいるかもしれません。（エゼ 38:16 あなたは土地を覆う雲のように、私の民イスラエルを攻める。私は最後の日々に、私の土地をあなたに攻めさせる。それは、ゴグよ、私がさまざまな国の民の目の前で、あなたを通して自分を神聖なものとする時、それらの民が私を知るようになるためである）

大患難が始まった後……信仰を持つようになる人たちはいるのでしょうか。

16. 私たちはエホバについてどんなことを知っていますか。（挿絵も参照。）

16 私たちは聖書を通して、エホバが人間の命をどれほど大切に思っておられるかを知ることができます。エホバは私たちが永遠に生きる見込みを持てるように、ご自分の独り子の命を与えてくださいました。（ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました）私たちはエホバの優しい愛情を感じています。（イザ 49:15 女性が自分の乳を飲ませている子を忘れたり、自分が産んだ子を思いやらなかったりするだろうか。たとえ女性たちが忘れたとしても、私があなたを忘れることは決してない）エホバは一人一人のことをよく知っているのです、私たちがたとえ死んだとしても復活させることができます。私たちの記憶を含め、細かな点全てを復元できるほどによく知っているのです。（マタ 10:29-31 スズメ 2羽は小額の硬貨 1枚で売っていませんか。それでも、その 1羽でさえ、天の父が知らないうちに地面に落ちることはありません。30 ところが、あなたたちは髪の毛まで全て数えられています。31 ですから、恐れることはありません。あなたたちはたくさんのスズメより価値があるのです）こうしたことを考えると、愛情深い父であるエホバは一人一人を正しく、憐れみ深く、完璧な仕方で裁いてくださると確信できます。（ヤコ 2:13 憐れみを示さない人は、憐れみを示されることなく裁かれます。憐れみは裁きに打ち勝つのです）



エホバが一人一人を、正しく、憐れみ深く、完璧な仕方で裁いてくださることを確信できる。（16 節を参照。）

17. 次の記事ではどんなことを考えますか。

17 このようにさらに理解が深まったことで、①終わりが近いことをこれまで以上に意識して伝道したいという気持ちが強まります。どうしてでしょうか。②諦めずに伝道し続ける上で、どんなことが役立つでしょうか。こうした質問について次の記事で考えます。

エホバが将来行う裁きについて・・・

1. どんなことを知りませんか。

・S08 大患難が始まる前に良い知らせを聞く機会がなかった人たちの裁きを、エホバとイエスがどう判断するかについて、私たちには分からないし、エホバにはそのことを私たちに知らせる義務もない。

・S10 大患難の間に、病気や老齢のために、または事故や事件に巻き込まれて亡くなる人中には、新しい世界で「正しくない人」として復活する人がいるのかどうか、私たちには分からず。

2. どんなことを知っていますか。

・S11 ①キリストの兄弟たちにどう接したかを基準にして、キリストが人々を羊かヤギに分けること、つまり、キリストや天に行くよう選ばれた人たちに協力してきた人は、羊として分けられる。②キリストの兄弟たちの一部が大患難が始まった後も地球にいて、ハルマゲドンが始まる直前に天に行くので、キリストの兄弟たちが地球にいる間は、そうした兄弟たちとその活動を支援することができる—ことを知っている

・S13 大いなるバビロンが滅びた後、終わりが来る直前に私たちに加わる人がいるかもしれないが、エホバに倣って憐れみ深く思いやりを示し、その人たちを喜んで迎える

・S14-15 永遠に生きられるかどうかは、いつ死ぬか、またはどこに住んでいるかで決まる訳ではない。

3. どんなことを確信できますか。

・S16 エホバは私たちが永遠に生きる見込みを持てるように、ご自分の独り子の命を与えてくださった。エホバは一人一人のことをよく知っているので、私たちがたとえ死んだとしても復活させることができる。こうしたことを考えると、愛情深い父であるエホバは一人一人を正しく、憐れみ深く、完璧な仕方で裁いてくださると確信できる。

76 番の歌 どんな気持ち？

△ この理解の調整について詳しくは [「ものみの塔」2015 年 3 月 15 日号 7-11 ページ](#)の「神が是認された教え方」という記事を参照。

△ 大いなるバビロンが滅ぼされた後、エホバに仕える人たちは全員、マゴグのゴグの攻撃の際に信仰を試されます。大いなるバビロンが滅ぼされた後にエホバの側に付く人たちも試されます。